



明学だより

第 38 号

令和7年11月



8月から9月の猛暑を乗り越え、10月中頃からは学園の木々が色づき始め、季節の移ろいを感じる毎日です。明石学園では、子どもたちが一つひとつの行事に一生懸命に取り組み、仲間とともに成長する姿が見られます。

2学期に入ってから明石学園の子どもたちはたくさんの挑戦と笑顔がありました。体育祭では、男子の集団演技「4つの輪」、女子が一年間練習を重ねた「創作エイサー」を披露し、会場は感動に包まれました。10月には、兵庫県下児童福祉施設入所児童バレーボール大会、近畿児童自立支援施設女子バレーボール大会、中学3年生沖縄修学旅行、校外学習、男子陸上部参加の東播駅伝競走大会など、子どもたちは新しい経験を重ねながら、日々成長しております。忙しい日々の中でも、笑顔と元気を忘れず、前向きに過ごす子どもたちの姿は、私たち職員にとって何よりの喜びです。

11月28日に滋賀県で行われる近畿駅伝競走大会を終えると、中学3年生はいよいよ受験に向けた準備が本格化します。進路相談や高校のオープンハイスクールへの参加を通じて、子どもたちは自分の未来を真剣に考えています。明石学園卒業式まで残り4か月。学園職員一同、子どもたちの将来を応援し、温かく寄り添いながら、共に過ごす時間を大切にしていきます。

教務第1課長 重國 弘太郎

行事報告

第38号の明学だよりでは、暑い夏を乗り越えたこどもたちの成長が感じられる体育祭！そして秋祭りの様子を紹介いたします。是非、ご一読賜りますと幸いです。ご覧ください♪

体育祭



今年の体育祭のテーマは『燦華』。輝く華のように個性や努力を开花させるということで、令和7年度の体育祭を10月3日に行いました。穏やかな風が吹く中、少し雨が降る場面もありましたが、ご来園いただいた皆様と共に、あたたかな体育祭となりました。ありがとうございました！！



絶対に負けられない戦いがそこにはある。ということで、寮の名誉をかけて行われました、この2つの競技。『早く来て！やっぱり脱いで！寮対抗 T シャツリレー』と『第20回ワールドカップ大なわ2025』。これがまた盛り上がる…。T シャツリレーでは、服が伸びようなんて関係ない、寮職員が引っ張りまくりました。大なわは、多くの方にご参加いただき、体にムチを打っていただきました。どちらも優勝は白梅寮～！強い…強すぎる…。笑顔あふれた戦いになりました♪



『リレーリレーリレー』これも非常に白熱した戦いになりました。先にお伝えしておきますが、この戦いを制したのは、まともや白梅寮。えっ？白梅寮のみなさん、今年強すぎませんか？「来年は絶対勝つ！」という負けん気の声も聞こえてきましたが…。職員も入り大盛り上がりになったリレー。みんなで繋いだバトンの重みを感じながらの戦いでした。朝ランで鍛えられているのでみんな速いっ！！

『アツい気持ちで綱、手繰り寄せろ』では、明日の筋肉痛を恐れず、多くの方にご参加いただきました。明石学園綱引きの良いところは、こどもたちのところへ保護者の方が走って向かってくれるところ。普段一緒に泥だらけになって綱引きをする場面なんてありませんよね？今日という日が、初めての体験になったのではないのでしょうか。ありがとうございました♪



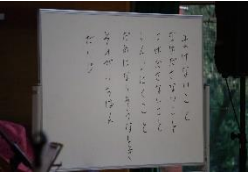
女子演技では、Eisa-Crew CROWNのお2人に来ていただき、『創作エイサー』計5曲を披露しました。4月から職員の指導のもと、一生懸命に練習をしてきました。体育祭当日は、多くの方の前でとても緊張した面持ちでしたが、音楽が流れると緊張の糸はほどけて力強い演舞を披露してくれました。沖縄の伝統的な手踊りである「カチャーシー」を踊ることができ、会場をまるっと引き付けられるこどもたちに拍手喝采！

小学生の演技は、Mrs.GREEN APPLEの曲で『はじまり』に合わせて跳び箱を披露しました。9月に入って何度も練習を積み重ねてきた小学生4人。当日は、たくさんの人を前に「やばい…めっちゃ緊張する…」とささやいていましたが、堂々とした力強さで、4人連続跳び、台上前転大成功！さすが小学生！！かっこよかった！！

男子中学生の演技は、『人間起こし』。～Four Rings～4つの輪ということで男子寮4寮が力を合わせて、大きな花を咲かせました。練習はじめはなかなか息を合わせることが難しく、大苦戦したこどもたち。全員が声を合わせてする必要があります。いよいよ本番。ひとりひとりの努力の末、見る人を魅了する大演技となりました☆



秋祭り



10月8日、明石学園に『あかし玉子焼ひろめ隊』さん『うさぎの会』さん、アーティストのザ・ふじやんが来てくれました！

なんと5年ぶりとなる明石学園の秋祭り開催。こどもたちは前日からソワソワ。「秋祭りってなにをするんですか？！」ととても楽しみにしていました♪

秋祭り当日、グラウンドに露店が並び、明石の玉子焼、やきそば、学園調理棟からホットドック。体育館に移動して豪華賞品をかけたじゃんけん大会が開催されました！ぬいぐるみや、カップ麺、保母先生が喜ぶ実用品など。みんなが大喜びでした！その後お待ちかねのザ・ふじやんのスペシャルライブがあり、大盛り上がり♪「かたつむり～かたつむり～かたつ～むりっむりむり～♪」会場一体となり楽しみました☆『あかし玉子焼ひろめ隊』さん『うさぎの会』さん、アーティストのザ・ふじやんさん、ありがとうございました！来年もよろしくお願いします！！



女子バレー部

女子バレーボール部の活動を紹介します。

兵庫県下児童福祉施設入所児童バレーボール大会、近畿児童自立支援施設バレーボール大会と2つの大きな大会がありました。

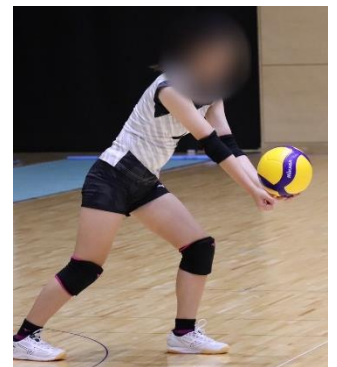
『バレー大会を振り返って』

私は、10月18日に開催された兵庫県下児童福祉施設入所児童バレーボール大会に出ました。このバレー大会が始まる前のアップから気合を入れて取り組みました。そして何よりもキャプテンになるということは、チームをまとめることです。アップから、みんなを元気づけることを頑張りました。明石学園は、アップをするとき、リズムダンスをします。このリズムダンスでは、みんなで声を掛け合い、リズムよく手拍子をしながらフットワークをするというもので、みんなを盛り上げるにはもってこいのアップなのです。アップを終えて、あっという間に試合が始まり、「サーブが入るかな・・・」「レシーブ上手くとれるかな・・・」と緊張していた子もいた中で、どんどん相手に点を取られてしまいました。その時、監督に「いつもの元気で声を出さない！」と声を掛けられ、そこから私がなぜキャプテンを任されたのかを考え、元気だから、みんなよりバレーボールを経験しているからなど考えました。そして今自分にできることを考えて試合に取り組みました。そうすることで、みんながもっと笑顔になってバレーボールをしてくれました。そして優勝旗を持って帰ってくることができました。明石学園のバレー部は、部員10名でした。その中の3名はギャラリーでたくさん応援してくれたことと、先生方の声援で優勝して、もちろん7名の選手、私も自分で頑張ったと思っています。本当に私たちにバレーボールを教えてくれたコーチ、監督、ありがとうございます。そして応援して下さい先生方、一緒にバレーボールをしてくれた仲間にごく感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

兵庫県下児童福祉施設入所児童バレーボール大会 明石学園女子バレー部主将



舞子六神社へ
必勝祈願に。



縁の下の力持ち 作業部 を紹介します！

みなさんは、どうして明石学園が毎日きれいに整備されているかご存知ですか？学園で生活する中卒生3名と、なんでもできるスーパー監督のおかげで学園のきれいが保てているのです。みなさんが通って来られたグラウンドの整備をはじめ、学園の修復作業、行事の準備など幅広い範囲で活躍してくれています。これぞ、縁の下の力持ち！小学生、中学生は作業部のお兄さんたちに憧れを抱いています♪

夏の暑い日も冬の寒い日も合間を縫って芝刈り機をかけてくれています。



体育祭の入退場門の取り付け作業。高いところもスイスイ作業してくれています。



体育祭での綱引き。とても力のあるこの作業。力仕事もお手のものです。

作業部では、上記のとおり、小・中学生ではできない高所や危険な作業をしています。作業部で学べたことは、少ない人数の中で、どれだけ効率よく作業をしていくかを学ぶことができています。また、一度壊れてしまったものを新しいものに形としてリサイクルをすることの難しさと達成感を感じることができています。

作業部代表



お知らせ

明石学園の基本理念・方針を兵庫県ホームページに掲載しています。また、『チャボナビ』にて学園の行事や日常の様子も更新しておりますので、下記の QR コードをスマートフォンで読み取っていただきますと、アクセスが可能です。是非ご一読賜りますと幸いです。

明石学園にご興味のある方はそちらの方からお問い合わせください。心よりお待ちしております。



〈兵庫県 HP〉



〈チャボナビ〉

【編集より】

学園内の道が心躍る色とりどりの落ち葉で溢れる季節になりました。朝晩の冷え込みを感じながらあくる日もこどもたちはみんな元気に過ごしています♪

第38号では、体育祭をメインに掲載しました。次号では年末年始に3年生修学旅行、駅伝大会を取り上げたいと思います。引き続き、明石学園にご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

角南 葵